

子ども・子育て支援に関する ヒアリング・ワークショップの実施報告②

1 中学生

日 時：平成25年①11月11日／②11月12日

場 所：①多度中学校／②陽和中学校

- ・多度中学校および陽和中学校にあっては、あらかじめヒアリングシートに記入してもらい、2年生女子バレー部員7人（多度中学校）と、1年生男子テニス部員6人（陽和中学校）を対象に直接、集団でヒアリングを行った。他の学校にあっては、ヒアリングシートの記入のみ（17人）とした。
- ・ヒアリングでは、「理想の親象」、「あったらいいと思われる支援策」などについて聞き取りを行った。

■理想の親象は（こんな親になりたい、こんな親にはなりたくない）

【こんな親になりたい】

～子どもとの関わり方～

- やさしい親（同様4件）
- 子どもの気持ちがわかる親（同様3件）
- 子どもの話をちゃんと聞ける親
- 子どもの好きなことには共感できる親
- 人の気持ちを考え、接することができる親
- 子どものしたいことをかなえてあげ、駄目なことは叱れる親
- 子どものしたいことは、させてあげられる親
- 自分の子どもにも「ありがとう」がいえる親
- いけないことをしたら怒って、普段はやさしい親
- 怒る時は怒って、褒める時は褒める親
- やさしくて、好きなことをさせてくれる親

- 子どもにやさしく接し、甘やかしすぎず、厳しすぎない親
- 子どもにやさしく家事ができる親
- やさしくて教育のできる親
- 時には怒り、時にはやさしくおもしろく
- 子どもを甘やかさない親
- 子どものことを一番に考えて自立するまでちゃんと子育てする親
- 子どものことには必ず一生懸命な親
- 自分の子どもを大切にできる親
- 何でも話せる親

～家庭生活～

- 自分の父親は仕事で帰宅が遅いので、早く帰れる親になりたい
- 週3万円くらいもらえる職業に就く
- 仕事をちゃんとする

～その他～

- 子どもから尊敬される親
- 子どもにいい親だったなと思われるような親
- 子どもに「お母さんみたいになりたい」と言われるような親
- 母みたいな親

【こんな親になりたくない】

～子どもとの関わり方～

- 暴力をふるう親（同様5件）
- 虐待する親（同様3件）
- すぐ怒る親・常に怒っている親（同様4件）
- 子どものことを考えていない親（同様1件）
- ちゃんと話を聞けない親
- 自分の親はいてほしい時にいなかったことがある
- 母親は話を聞いてくれるが、父親との会話は少ない
- 母親は日頃の“怒り役”
- 嫌われる親
- 子どもをほったらかしの親

～その他～

- 自分の親は理想と少し違う
- 自分の怒りを人にぶつける親
- 酒癖の悪い親
- 子どもを捨ててしまう親
- ごろごろしている親
- 頼りない親

■ あったらいいと思う支援

～保育所等での保育～

- 8時頃まで預かってくれるところがあるといい

～情報提供・相談～

- 子どものことについて教えてくれる場（同様3件）
- 子育ての方法（泣いている子どもへの対応など）を教えてくれるところ
- 困った時に相談にのってもらえると助かる（同様2件）

～遊び場・交流の場～

- 友だちをつくってくれる
- 子どもと遊んでほしい

～経済的な面～

- 経済的な支援
- 児童手当の金額を中学卒業まで一律にしてほしい

～地域・家族～

- 子育てをしてくれる地域の人

～その他～

- 赤ちゃんの夜泣きを助けてくれる（手伝ってくれる）（同様2件）
- 困った時に助けてもらえるとありがたい（同様2件）
- 赤ちゃんのお世話
- 食事
- 家事を代わりにしてくれる人
- ちょっと手が離せない時に助けてもらえるとありがたい

■幸せを感じる時、好きな時間

- 部活をやっている時
- 寝ている時
- 家で母親と会話している時
- 面白い授業がある時
- 誰かとしゃべっている時
- 寝っ転がってぼーっとしている時
- 一人でご飯を食べている時
- ゲームをやっている時

■休日の過ごし方

- 友達と遊ぶ
- 友達と一緒にショッピングセンターに行く
- 携帯電話をいじっている
- 買い物に行く
- ごろごろしている
- 家族と一緒に出かける

■地域にあるといいもの

- 気軽に集まれるところ
- 放課後に集まって勉強などできる場
- 大きな公園
- 安く買い物ができるところ
- 気軽に使える室内の運動施設
- 医療機関
- 漫画喫茶、ネットカフェなど娯楽施設

★きょうだいはいるか（何人きょうだいで自分は何番目か）

5人中 2人目	4人中 4人目	3人中 1人目	3人中 2人目	3人中 3人目	2人中 1人目	2人中 2人目	1人
1人 (3%)	1人 (3%)	3人 (10%)	3人 (10%)	6人 (21%)	6人 (21%)	7人 (25%)	3人 (10%)
1人 (3%)	1人 (3%)	12人 (40%)		13人 (43%)		3人 (10%)	

★今まで赤ちゃんと接したことは

ある	ない	無回答
20人 (69%)	3人 (10%)	6人 (21%)

★将来結婚したいと思うか

思う	思わない
28人 (93%)	2人 (7%)

★何歳くらいに結婚したいか

～19歳	20～25歳	26～30歳	31歳以上	無回答
0人 (-)	20人 (69%)	6人 (17%)	0人 (-)	4人 (14%)

★自分の子どもがほしいか

ほしい	ほしくない
29人 (97%)	1人 (3%)

★何人子どもがほしいか

5人	2～4人	3人	2～3人	2人	1人	0人
1人 (3%)	1人 (3%)	6人 (22%)	1人 (3%)	18人 (59%)	2人 (7%)	1人 (3%)

★将来桑名に住み続けたいか

はい	いいえ	無回答
17人 (57%)	12人 (40%)	1人 (3%)

2 市民公募委員応募者

日 時：平成25年11月14日

場 所：桑名市子ども・子育て応援センター「キラキラ」

- ・「桑名市子ども・子育て会議」の市民公募委員応募者を対象にヒアリングを行った。
- ・参加者7人にワークショップの形式でヒアリング調査を行った。
- ・ヒアリングでは、「子育てについて」、「市の子育て支援について」、「地域の子育て支援について」などについて聴き取りを行った。

■子育てについて（苦勞している、反省している、心がけている）

【苦勞している】

～家事～

- 子どもがいつ泣くかわからないため、予定通りにことが進まない
- やらなければいけないことを最低限やっていくだけの毎日で、失敗だらけ、反省や後悔ばかり
- （母子世帯なので）時間をやりくりする以前に時間がない。休日は子どもの各行事等でまともな休みがない。結果的に家の中が荒れてしまう

～育児～

- 時間的なゆとりはあっても、（子どもが幼いため）常に緊張感をもっていなければならない
- 人から聞いた話を参考にしようと思っても、自分の生活や育児に取り入れられないことがジレンマ
- 心の面やふれあいが必要な時期なのにそこまで手が回らない
- 自尊心は家庭で育まれると思うが、なかなかそういう場を持ってない

～地域・友人～

- 助け合いとは言いつつも、自分が助けられてばかりで、他人を助けることができない
- 既存のグループに入っていくのは難しい
- 既存のグループと趣向が合わないとうまく付き合っていけない
- 子どもが外で遊べるようになるとママ友もできるが、それまでの間は友人をつくるのが難しい

○子どもが2歳くらいになるまでがきつい

○誰かと喋りたいが、話せる人がいない

～その他～

○些細なことから大きなことまで、自分が思っていることを満たす自由がない

○子育てサロン等の情報を知っていても、介護や家事など出かけられない人もいる

【反省している】

～子どもとの関わり方～

○十分に関わってあげられなかったんじゃないかなと思う所が多々ある

○子どもたちに教えられながら毎日反省をしている

～その他～

○第一子とそれ以降の年齢が離れているので、もう少し早くきょうだいを作ってあげたかった

【心がけている】

○（他人からのアドバイスを参考にしつつも）自分と他人とは違うということを受入れながらやっている

○もう少しゆったりした気持ちで子育てできるといいのに

○自分のママ友づくりではなく、子どもを楽しませる気持ちで外出し続ければ、色々な出会いがある

○自分の力を信じて、自分を大切にできることが一番大事

○自分は家庭で大事にされてきたと思えることで、自分の子どもを大事にできる

【その他】

○夫が家に帰ってきたら話を聞いてくれる。共働き家庭の場合は、お互いに愚痴の言い合いになってしまうことがあるらしい

○共働きでも妻の負担ばかりが多い、最終的にはお金と個人の意識

○同じ年頃ではなく、一世代上に助けられることが多い。その関係を繰り返し継承していけると良い

○同居の親や周囲からの理解と支援が必要。男性の理解が特に大事

○マンション住まいには閉じこもりの人が多い

■市の子育て支援について

【ファミリー・サポート・センター】

- 身近な地域に良い提供会員がいると安心して頼める
- お金はかかるが、子どもの安全には変えられない
- （幼いきょうだいの子守は）長男に負担がかかり、何かあった場合に責任を負わせることになることを考えれば、お金のことを気にしている場合ではない
- ファミリー・サポート・センターを実際に利用しなくても保険代わりに登録するよう紹介するだけで安心される

【子育て支援センター】

- 遊びに行っても、得るものがない、中身がない
- 利用者が少ないとおもちゃを出されておしまい。行く気になれない
- 遊びに行っても、結局家の中でやっていることと一緒に。親子で遊ぶだけで、他の人とつながりを築くことが難しい

【赤ちゃん訪問】

- 母親のニーズに合っておらず中途半端
- 最初の3か月はしっかり見てほしい（もっと訪問してほしい）
- 自分に自信が持てない時に赤ちゃん訪問に来られても疑心暗鬼になったりするし、子育て支援センターに遊びにおいでと言われても行く気になれない

【情報提供】

- 情報に漏れがある
- 子育てに一杯一杯になっていると、情報にまで目がいかない（同様2件）
- 市全体の情報だと読むのに時間がかかるだけ。他所の地域の情報はあまり必要としない
- 地域密着型にしてほしい
- 歩いていける距離の情報を詳しく知りたい
- 1年間の予定表では忘れてしまう。“来週の分”などタイムリーに提供してほしい（同様2件）
- メールマガジン等で上手に発信してほしい

【学習・教育・啓発】

～子ども～

○将来子どもを持ちたくなるよう、子どもの頃から赤ちゃんと接する機会を増やしてあげてほしい

～（母）親～

○虐待してしまう親は、自分自身を信じられなくなっている。母親の自己肯定感を育てる場所が必要

～地域・社会～

○職場で社員同士が子育てや親の介護に関して話し合う機会を設ければ社会が変わる

○親子同士が集う場や機会が重要なことを、職場や地域に理解してもらえるような働きかけが必要

○役所でも企業でも、上司が育児休暇を取らないと部下が取れない

○妻が専業主婦だと、男性の育児休暇取得に文句を言う人がいる

■地域の子育て支援について

【全般】

○お隣さんが助けてくれると楽

○人も場も含めて、子育てに必要な支援は「地域」で調達できると良い

○自分の親に頼れない若い親には、地域の人たちの支援があると非常に助かる

【子育てサロン】

○市がやっているキッズサロンとは別に、地元でもそのような子育て支援ができる

○地域のサロンに託児として住民が協力すれば、母親はゆっくりする時間を確保できる

○地元の住民（祖父母世代）が悩みを聞いたり、友達を作りたい人同士を結び付けたりもするので、市のサロンより充実している

【見守り・訪問】

○保護者との立ち話から育児に関する話に発展する。それが地域の見守り

○（子育てが不安なので）地域の人が押しかけてきても構わない（訪ねてきてくれると嬉しい）（同様2件）

【情報】

○子育て広場をやっているけど、子育てガイドに掲載されていない（同様2件）

○地区の主任児童委員がどこにいるのかを教えてほしい

○地域の未就園児を把握するための情報が必要（同様3件）

○（地域の子育て支援を利用したいかどうか）個人情報提供の希望を確認する機会を設けてはどうか